

介護現場の人材確保へ補助を

(町長) 現在の段階では無理

大谷 これからは超高齢化になり、介護の業種が増えてくると思う。町内の介護サービス事業所施設で働く職員の育成や人材確保のために、手厚い補助をしては。

例えば、介護職の初任者研修資格（旧ホームヘルパー2級）取得を目指す人を雇う事業所に対し、一定期間の賃金を町が負担、就職を目指す同資格受講者には受講料の一部補助など。また、長万部高校を対象にした補助枠を設け、高卒者の地元就職の促進も図ってはどうか。所信を伺う。

町長 高齢化が進む中、介護施設等の雇用環境は厳しく、人材・人員不足等も課題となってきた。町内で働く資格取得職員の確保が難しい状況にあることも理解しているが、人材の確保は事業を行う上での必須条件であり、施設等が努力する

ものと認識をしている。また、「受講料の一部補助を」、「長万部高校に補助枠を」という事については、どちらも他の資格との兼ね合いから、特定の資格取得に対しての補助は難しい。

地元就職の促進は、インターンシップなどの機会を通じて繋げたい。

大谷 職員が働きながら資格を取得してスキルアップできるような支援していきたい。介護現場の新たな人材確保とともに、高卒者の町外流出の歯止めにも繋がる。新たな人材の掘り起こし、若い世代の女性の雇用を誘導し、人口減対策に繋げる狙いもある。働く女性が多くなれば、金銭的な余裕ができて子どもを持つという気持ちになり、少子化抑制にも繋がるのでは。将来世代への投資とする政策の利点もあると思う。また、長万部町には特

定の資格取得の補助枠があるというアピールをし、それによって他の業種の資格を目指す若者も出てくるのでは。経済的な理由で断念している人にも希望を与えてはどうか。

町長 特定の資格だけに特典を与えるのは、無理である。

大谷 実行すれば必ず何らかの変化が起き、学べるものがある。考えているだけでは何も変化は起きない。実行すればそれをきっかけに成長し

ていけるのでは。再度伺うが、このような政策の検討は。

町長 今後の長万部町としての取扱いをどうするか検討をした上で、現段階では無理であると判断した。ご理解いただきたい。



デイサービスセンターでのランチ

